

いままでも、これからも。
三菱マテリアルは、新しい時代の要請にチャレンジし、
“成長への変革”を遂げていきます。

当社は、三菱グループのルーツである九十九商会の鉱山業への進出を起源としています。
150年近くにわたり、日本の高度成長を支え、時代とともに変化する社会の要請に応じて、
経営の多角化・事業構造の転換を続けながら発展してきました。
私たちは、これからも、新たな素材、製品、ソリューションを創造し、持続的な成長を果たしていきます。

150年の歴史で培われた
三菱マテリアルの
「4つの強み」

1
高度な
リサイクル技術と
事業基盤

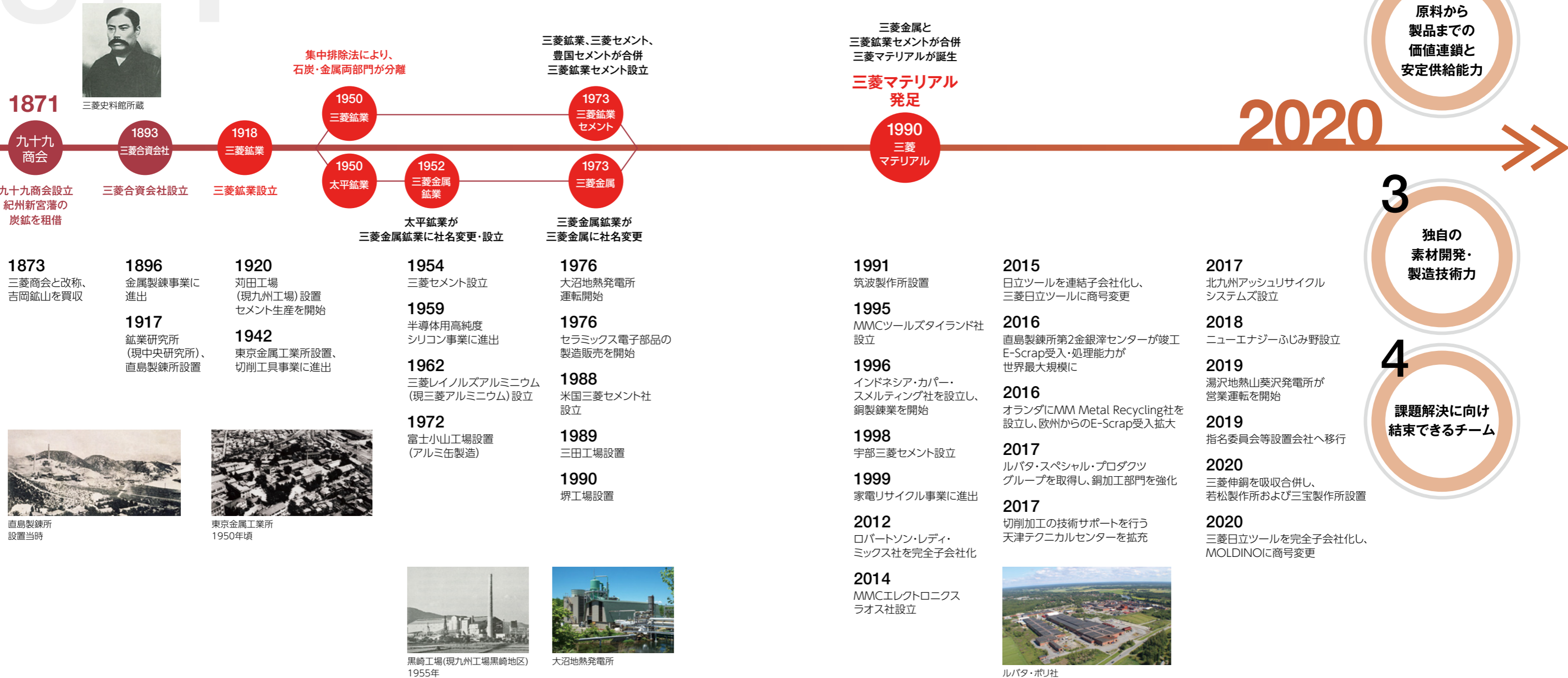
2
原料から
製品までの
価値連鎖と
安定供給能力

3
独自の
素材開発・
製造技術力

4
課題解決に向け
結束できるチーム

▶日本の近代化とともに ▶石炭、金属部門の進展 ▶戦後の復興から多角化する事業

▶三菱マテリアルの誕生と発展



三菱マテリアルは、150年にわたって培ってきたDNAを継承し、
高度な技術開発と製造技術、そして社会インフラを支える人材力を強みに、
循環型社会の未来に貢献します。

三菱マテリアルは総合素材メーカーとして、時代と社会の多様なニーズに応える
新たなマテリアルを創造し、あらゆる産業の基盤形成に貢献してきました。
今後来るべき循環型社会の構築においても、更なる技術革新によって新たな社会価値の創造に挑戦していきます。

1 高度なリサイクル技術と 事業基盤

長年に及ぶ金属、セメント事業、そして環境リサイクル事業
を中心に蓄積した、多様で高度なリサイクル技術と幅広い事
業経験、独自の廃棄物収集ネットワーク・事業基盤によって、
先進的なリサイクル事業の拡大を可能にします。



直島第2金銀滓センターとE-Scrap



家電リサイクル工場の
自動ピッキングロボット



2 原料から製品までの 価値連鎖と安定供給能力

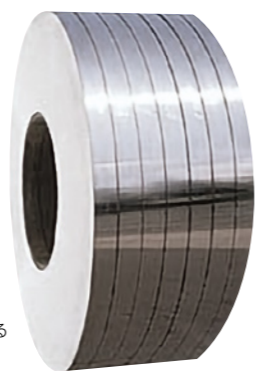
原料資源の安定調達から製品までの一貫した製造体制を確
立し、良質な製品の安定的な市場供給を可能にしています。こ
の強みを基盤として、世の中に不可欠な基礎素材を供給する
とともに、世界各地の産業を支えています。



カッパーマウンテン銅鉱山(カナダ)



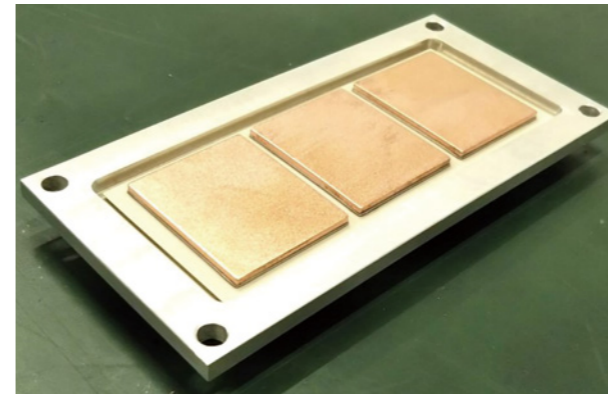
製錬工程



長年の信頼と実績を誇る
無酸素銅条

3 独自の素材開発・ 製造技術力

変化の激しい市場に対応する無酸素銅及び銅合金(銅加工)
や異種材料接合(電材)に加え、超硬原料、コーティング(加工)
等の先進技術。いずれも原子レベルでの分析力・シミュレ
ーション技術に支えられた素材開発・製造技術力で、当社の競争
力の源泉となっています。



パワーモジュール用高性能絶縁放熱基板(DBAC基板)



新開発Al-richコーティング技術を採用した新材種MV1020

4 課題解決に向け 結束できるチーム

女性をはじめ、高齢者、障がい者、外国人も含めた多様な人
材活用を推進、その多彩な個性と価値観、そして誠実さを尊重
し、これらの個人の力を結束することで、あらゆる課題解決へ
の取り組みを可能にしています。



女性社員研修



一人ひとりがいきいきと働く職場を目指して



課題解決型の研修風景

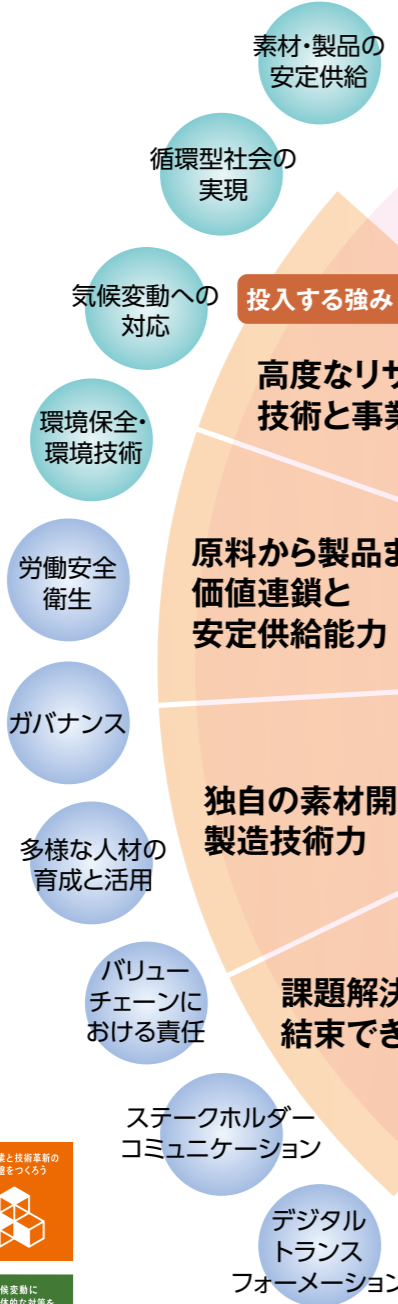
価値創造プロセス

三菱マテリアルの価値創造の根底にある考えは「社会的価値と経済的価値の両立」です。
当社ビジョンの達成に向けて、社会課題の解決に取り組み、それを通じて経済的価値を創造していきます。

解決する社会課題とSDGs

- モビリティの高度化
- デジタルデバイスの高度化・多様化
- 生産・業務プロセス自動化
- 人・建造物の長寿命化
- 災害に対する有効な対策
- 都市廃棄物の効率的処理
- 鉱物資源の効率的な活用と代替物質
- エネルギー資源の効率的な活用
- 再生可能エネルギー・未活用エネルギー開発
- CO₂排出量削減

重要課題

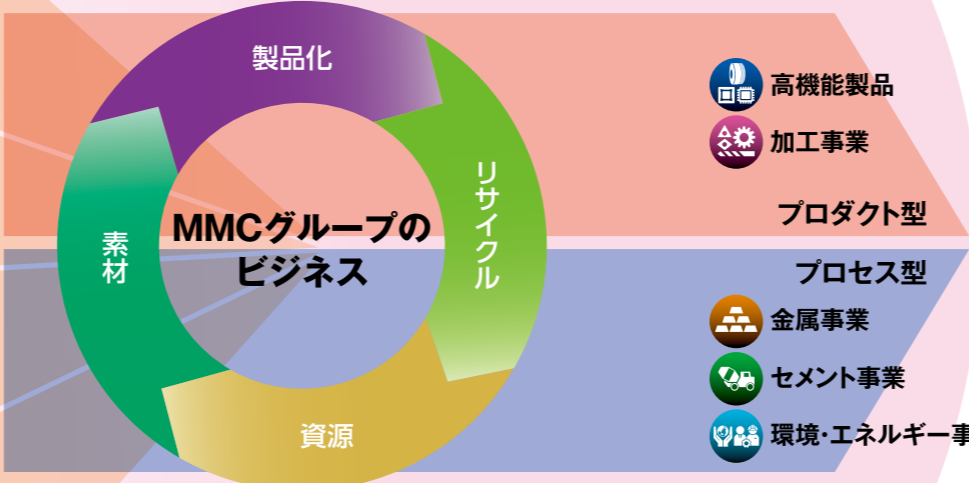


【全社方針】

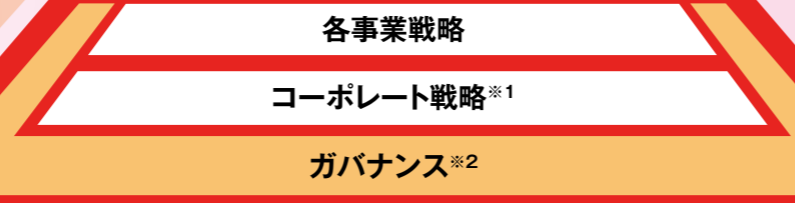
- ◆事業ポートフォリオの最適化
- ◆事業競争力の徹底追求
- ◆新製品・新事業の創出

事業の長期目標

長期戦略



22中期経営戦略



(※1) デジタル化戦略、ものづくり戦略、品質管理戦略、研究開発・マーケティング戦略、人事・人材戦略
(※2) コーポレートガバナンス・グループガバナンスの強化

企業理念 人と社会と地球のために

ビジョン
ユニークな技術により、人と社会と地球のために新たなマテリアルを創造し、持続可能な社会に貢献するリーディングカンパニー

会社の目指す姿 社会的価値と経済的価値の両立を図る



豊かな社会の構築に貢献

循環型社会の構築に貢献

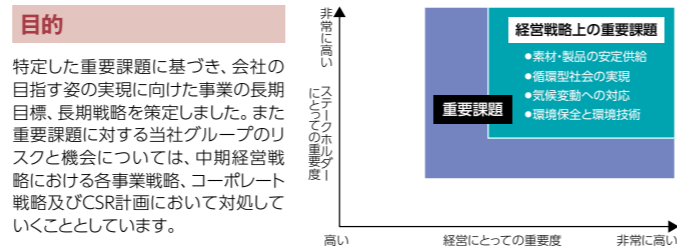
脱炭素社会の構築に貢献

2030~2050



三菱マテリアルグループについて 重要課題の特定とその対応

当社グループは、新中期経営戦略の策定にあたり、2015年に制定したCSR上の重要課題を基礎として当社グループの重要課題を更新しました。更に事業活動を通じて直接解決する経営戦略上の重要課題を設定し、経営戦略との関連性を強化しました。これら重要課題への取り組みは「持続的な開発目標 (SDGs)」の達成にも貢献するものであり、これにより社会的価値と経済的価値の両立による企業価値向上を実現していきます。



	重要課題	重点テーマ
事業を通じた社会課題解決に関する重要課題	素材・製品の安定供給 [SCQDE]	銅を中心とした非鉄金属素材の提供 付加価値の高い機能材料・製品の提供
	循環型社会の実現 [SCQDE]	リサイクル可能な製品の提供 高度なリサイクル技術による廃棄物の再資源化
	気候変動への対応 [SCQDE]	地熱等再生可能エネルギーの開発・利用促進 環境負荷低減を考慮したもののづくりの徹底
	環境保全・環境技術 [SCQDE]	環境汚染防止 生物多様性の保全 環境技術・製品の開発
経営基盤・基軸強化に関する重要課題	労働安全衛生 [SCQDE]	労働災害の未然防止 心身ともに働きやすい職場づくり
	ガバナンス [SCQDE]	コンプライアンスの徹底
	多様な人材の育成と活用	人材育成 多様性(女性の活躍推進)
	バリューチェーンにおける責任 [SCQDE]	調達における人権尊重 製品品質
	ステークホルダーコミュニケーション	ステークホルダーとの関係構築・強化 顧客満足の上昇 地域社会との対話・共生
	デジタルトランスフォーメーション	業務標準化 オペレーション強化 新たな付加価値創造

事業戦略	リスク	機会
高機能製品 P18	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然災害等によるサプライチェーン分断 ● フォロワーの地位に滞留 ● ゲームチェンジャーの出現 	<ul style="list-style-type: none"> ● 脱炭素化に貢献する製品の開発・供給
加工事業 P22	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車産業のサプライチェーン変更 ● モビリティ改革による内燃機関の減少 ● 原料価格の高騰 ● 新型コロナウイルスによる市場構造の変化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 加工部材の難削材化 ● 自動車電動化による新たな需要増加 ● リサイクルへの要請 ● デジタルテクノロジーの進化
金属事業 P26	<ul style="list-style-type: none"> ● 資源ナショナリズムによる銅精鉱調達不安 ● 中国製錬所の台頭による競争激化 ● 工程内微量成分増加による製錬所の操業負荷増加 ● 製錬所操業に対する環境規制強化 ● 貴金属リテール市場での強力な競合の存在 	<ul style="list-style-type: none"> ● 銅精鉱中不純物除去技術の開発 ● 工程内微量成分の回収強化と製品化 ● 循環型社会、脱炭素社会への移行 ● 環境意識の高まりに伴うE-Scrap市場の拡大 ● 安定資産としての金需要の高まり
セメント事業 P30	<ul style="list-style-type: none"> ● CO₂排出規制と石灰石代替の確保 ● 資源の枯渇 ● セメント内需減少 ● 人手不足 ● 熟エネルギー価格高騰 	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物埋立制限と難処理廃棄物対応 ● 新興国・環境先進国のセメント需要増(輸出) ● 高機能製品需要 ● 国土強靱化対応/堤防等 ● 低温焼成技術
環境・エネルギー事業 P34	<ul style="list-style-type: none"> ● 競合事業者の動向・参画 ● 製造メーカー再編 ● 排出自治体の動向 ● 国の政策変更、法改正 ● 温泉事業者等の地元の反対 ● ステークホルダーとの合意形成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉱物資源の枯渇:リサイクル資源需要増 ● エネルギー資源の枯渇:国内のエネルギー確保 ● 気候変動(地球温暖化):CO₂排出削減、再生可能エネルギー需要増

事業の長期目標 長期戦略	ESG/SDGs
グローバル・ファースト・サプライヤー ● コアコンピタンス(無酸素銅・合金の開発及び製造技術、機能材料開発、接合技術等)を磨き、組合せ、新製品・新事業を創出 ● マーケット起点で、勝ちパターンを追求	7, 9, 12, 13
戦略市場でのトップ3サプライヤー ● クリーンなもののづくりの推進 ● 先端技術を活用した高効率製品の提供 ● 高機能粉末事業の展開	7, 9, 12, 13
環境親和型製錬ビジネスのリーダー 銅を中心とした非鉄金属の安定供給と循環 ● クリーンな銅精鉱とE-Scrapからなる持続可能な原料ポートフォリオの形成 ● リサイクルの推進 ● 気候変動への対応	7, 9, 11, 12, 13
高度な環境技術を持つ、国内外のセメント業界のリーダー ● 社会インフラ・防災インフラ等整備のための建設基礎素材の安定供給 ● 廃棄物処理の高度化 ● CO ₂ 削減による気候変動への対応 ● 事業再編による強靱な国内事業基盤の構築と海外市場における成長	7, 9, 11, 12, 13
(環境リサイクル) 資源循環システムの牽引者 地熱開発のリーディングカンパニー ● トレーサビリティの徹底等による安心できるリサイクルシステムの提供 ● 再生可能エネルギー事業の拡大による脱炭素化	7, 9, 11, 12, 13

事業の長期目標 長期戦略	ESG/SDGs	豊富な社会の構築に貢献	循環型社会の構築に貢献	脱炭素社会の構築に貢献
グローバル・ファースト・サプライヤー	7, 9, 12, 13	● モビリティ・デジタルデバイスの高度化・多様化 ● 生産・業務プロセス自動化	● 低環境負荷素材の開発・使用 ● 鉱物資源の効率的な活用と代替物質	● エネルギー資源の効率的活用 ● CO ₂ 排出量削減 ● 脱炭素化に貢献する製品の開発・供給
戦略市場でのトップ3サプライヤー	7, 9, 12, 13	● 高効率製品とデジタルソリューションの提供	● 超硬リサイクル原料使用の推進	● 再生可能エネルギーを活用したもののづくりの推進 ● 高機能粉末技術を活用による電動化ビジネスの拡大
環境親和型製錬ビジネスのリーダー	7, 9, 11, 12, 13	● 高機能製品向けの銅を中心とした素材の提供	● リサイクル可能な製品の提供 ● 廃棄物の再資源化	● CO ₂ 削減技術の開発・利用促進 ● 環境負荷を考慮したもののづくり
高度な環境技術を持つ、国内外のセメント業界のリーダー	7, 9, 11, 12, 13	● 安全・安心・機能的な街づくり	● 廃棄物の再資源化 ● 持続的資源リサイクルの推進	● 製造プロセスの改善によるCO ₂ 排出量削減
(環境リサイクル) 資源循環システムの牽引者 地熱開発のリーディングカンパニー	7, 9, 11, 12, 13	● クリーンエネルギー、リサイクル製品の安定供給	● 都市廃棄物の問題解決 ● 持続可能な社会システムの構築	● 再生可能エネルギーの提供

● 研究開発・マーケティング戦略	P39	● 労働安全衛生	P45	● 休廃止鉱山	P53
● ものづくり戦略	P40	● コンプライアンス	P46	● 情報セキュリティ	P54
● 品質管理戦略	P41	● リスクマネジメント	P48	● ステークホルダーコミュニケーション	P55
● デジタル化戦略	P42	● 気候変動	P51		
● 人事・人材戦略	P44	● 環境マネジメント	P52		
● 役員のご紹介	P58	● グループガバナンス体制強化策	P72		
● 取締役会議長メッセージ	P60	● 品質管理に係るガバナンス体制の再構築策及び再発防止策	P74		
● 指名・監査・報酬 各委員長(社外取締役)からのメッセージ	P61	● サステナブル経営推進本部について	P76		
● コーポレート・ガバナンス	P64				
● グループ全体のガバナンスの強化に向けて	P70				